

玉野市立小中学校適正規模・適正配置計画（宇野中・玉中・日比中）説明会
会議録（概要）

日 時：令和7年5月30日（金）19:00～20:00

場 所：田井公民館

対 象：田井地区住民

参加者：10名

1 ご質問

○この説明会の広報はどのようにされていますか？ホームページだけですか？

→ホームページにも掲載していますが、各地域の会長と相談し、回覧板等で回覧してもらうなどし、周知しています。

○生徒が増えると支援が必要な子や障害のある子が増えると思いますが、それに対応するために追加の職員配置や施設の整備はされますか？

→必要に応じて、対応方法を検討し、職員の増加や施設の改修等を行いたいと考えています。また、施設の改修では、配慮が必要な生徒が通いやすいようエレベーターの設置や多目的トイレの改修などを行う予定です。

○1学級に生徒が35名いて、先生は生徒を充分に見ることができますか？

→現在は多様化ということで特性を持った多くの生徒がいるため、生徒の指導に大変な面もありますが、35名でも30名でも、それぞれの人数でしっかりと指導をしなければなりません。これは教員の責任だと考えていますので、教員の指導力が向上するように教育委員会でもしっかりと学校を指導していきます。

○検討委員会からは1学級の人数が30人以下と答申があったが計画でそうしていない理由は？

→現在は1学級40名となっており、その数で教員が配置されます。市の判断でそれよりも少ない生徒数とした場合、学級数が増えることとなりますが、増えた分の教員は市で雇用をしなければなりません。そうしたことも考慮し、現在は35名で計画をしています。

○通学路の安全確保は必ずされますか？

→安全確保は必ずする必要があるため、再編準備委員会で検討し、必要な箇所について、道路管理者や警察に対しても要望を行います。

○計画の内容は素晴らしく、今の時代に求められているものだと思うが、不登校の子が増えている中、そうした子も通いやすい学校にこの統廃合でなりますか？

→適正規模化により、不安な思いになるのではなく、友だちが増えるなど少しでも楽しみと思えるような取り組みや活動というものをしっかり進めていきたいと考えています。さらに、教員が増えることで、担任以外の多くの教職員でしっかりと不登校対応に取り組めるようになって考えています。

○クラス替えの利点として、いじめといった人間関係の問題の解消ができると言っていましたが、クラス替えするまで先送りしたり、クラス替えがあるから解決できるものではないと思うのですが？

→いじめなどの人間関係の問題は、クラス替えだけで解決しようというものではありません。まず、何か問題があれば、解決できるようにすぐに対応を行います。それでも、なかなか解決できずに長期化した場合、学校を変わらずとも、子どもの居場所や生活を守ることがクラス替えでできるという意味です。

2 ご意見

○再編準備委員会の委員が責任もあり、非常に大変だと思う。